

# 経営現況報告

## ～再生と未来に向けたビジョンへの取り組み～

2023年11月2日

千代田化工建設株式会社

(証券コード: 6366)

## AGENDA:

1. エグゼクティブサマリー
2. 受注
3. 主要遂行中案件
4. 事業ポートフォリオ革新
5. サステナビリティ

エンジニアリング  
社会の“かなえたい”を共創する

Enriching Society through Engineering Value

### Our SDGs Materiality



---

1

# エグゼクティブサマリー

# エグゼクティブサマリー

## 再生計画 最終年度(FY2023)の重点施策

## 上半期 進捗

1

受注残高1.1兆円の確実な遂行により収益積み上げ、財務体質強化

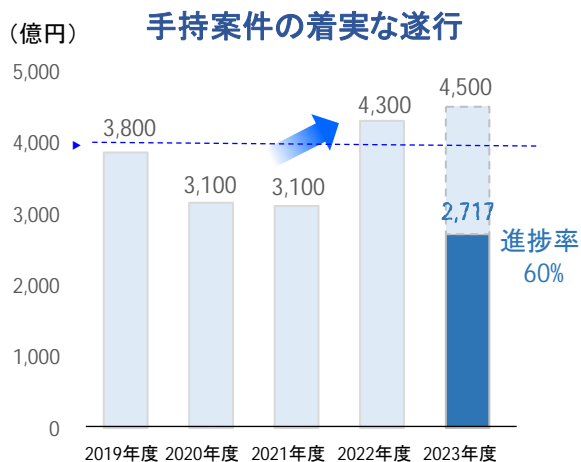
- 手持ち案件の計画通りの遂行により、安定的な収益を創出

2

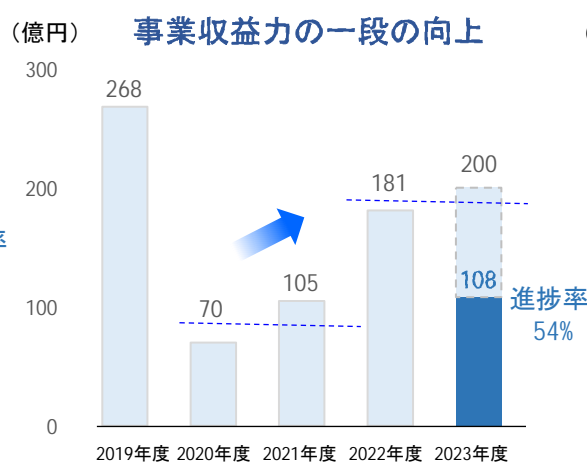
新規事業の推進強化により、事業ポートフォリオ革新の加速

- 脱炭素分野を主体に受注案件の積み上げ
- 水素事業の商業化をはじめとする新規分野取り組みの加速

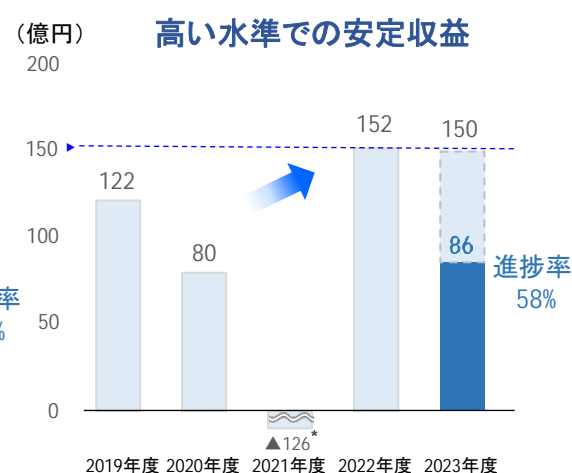
### 完成工事高



### 営業利益



### 純利益



\* 特別損失 ▲204億円含む(顧客との和解等によるプロジェクト関連損失)

---

## 2 受注

# 受注/上半期実績及び下半期見通し

設備投資意欲が旺盛な国内の脱炭素分野、ライフサイエンス分野を中心に受注を積み上げ、事業ポートフォリオ革新に繋げる。

分野	上半期	下半期	通期目標
受注高	1,348 億円 (進捗 45%)		3,000 億円
国内	1,014 億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 新規事業案件を中心に着実な積み上げ</li> <li>➢ 千代田エクスワンエンジニアリング* との連携によるグループ総合力強化</li> </ul>	2,500 億円
	【主な受注案件】 <ul style="list-style-type: none"> <li>蓄電池</li> <li>先端素材</li> <li>バイオ医薬品製造</li> <li>合成燃料(e-fuel) 等</li> </ul>	【注力案件】 <ul style="list-style-type: none"> <li>脱炭素関連</li> <li>先端素材</li> <li>ライフサイエンス 等</li> </ul>	
海外	334 億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 水素・脱炭素分野をはじめソフト業務を中心に将来案件への種まき、将来案件創出に向けたパートナーリング強化</li> <li>➢ 遂行中案件のチェンジオーダー獲得</li> </ul>	500 億円
	【主な受注案件】 <ul style="list-style-type: none"> <li>遂行中案件のチェンジオーダー獲得 等</li> </ul>	【注力案件】 <ul style="list-style-type: none"> <li>LNG</li> <li>水素、脱炭素関連 等</li> </ul>	

\* 2023年4月に国内子会社3社を統合し設立した総合エンジニアリング会社

---

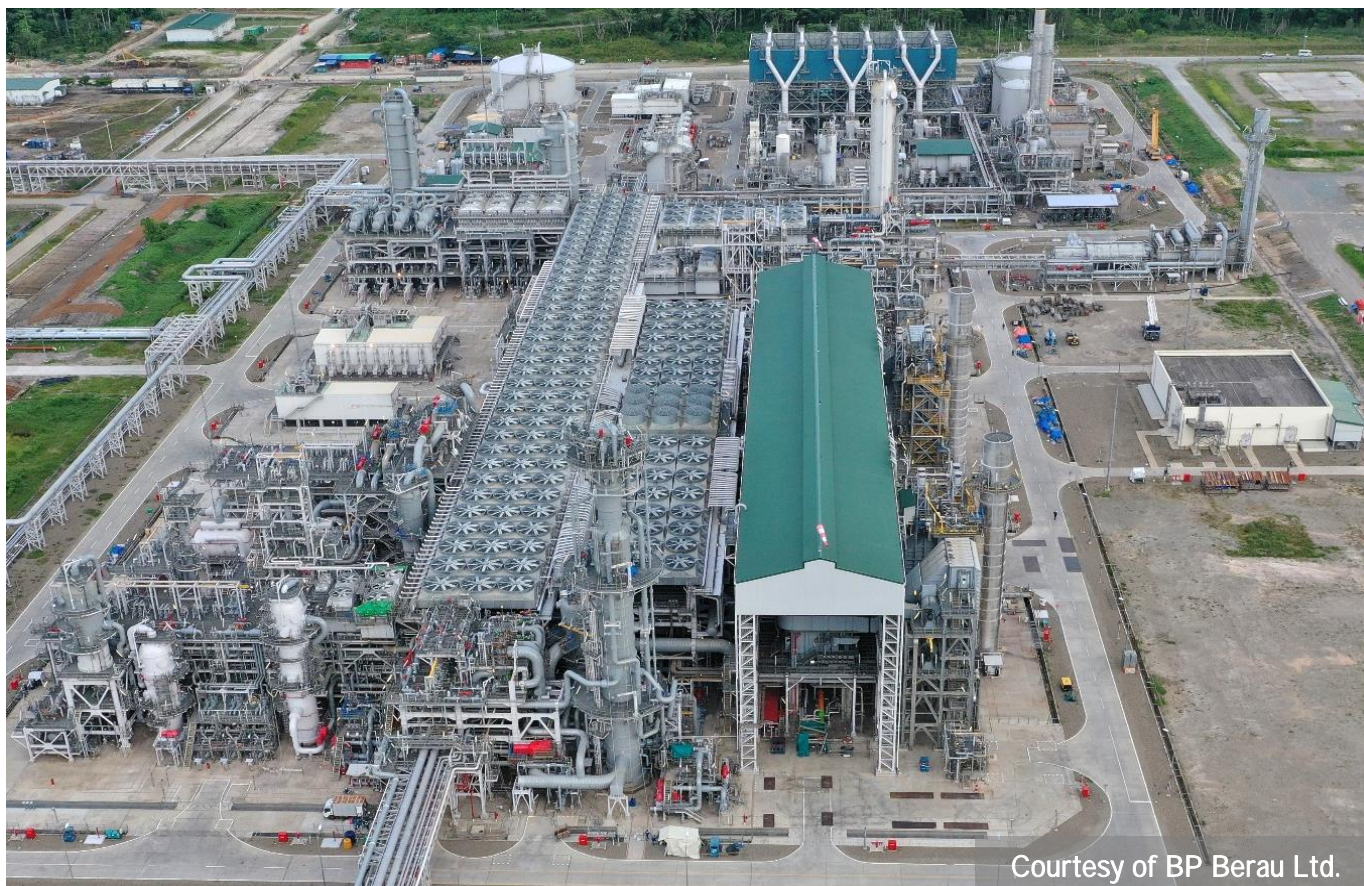
## 3 主要遂行中案件



# 1. インドネシア・タングーLNG

## 2023年8月、引き渡し

✓ 年産380万トンの大型プロジェクト。インドネシア・日本のエネルギー安定供給に貢献。



Courtesy of BP Berau Ltd.



## 2. カタールNFE LNG

### 建設工事が本格化、機器の据え付け作業開始

- ✓ 岸田首相の中東3か国訪問に同行した経済ミッションに榊田会長兼社長が参加。
- ✓ カタール王宮府を訪問し、タミム首長に謁見。プロジェクトの順調な進捗に対して、激励と今後への期待を寄せていただいた。



2023年3月現在  
Courtesy of Qatargas

# 3. その他主要案件

## 米国・ゴールデンパスLNG

設計・調達業務は終盤。  
建設工事が進捗中。



Golden Pass LNG

Courtesy of Golden Pass LNG

## インドネシア銅製錬

来年の完工に向けて、  
建設工事がピークへ。



Courtesy of P.T. Freeport Indonesia



---

## 4 事業ポートフォリオ革新

# 1. エネルギーマネジメント事業

## ENEOS(株)向け大型蓄電池設備 設置工事2件を受注

- ✓ 蓄電池は、再生可能エネルギーの導入拡大に向けた課題である電力需給バランスの安定化・出力変動の解決に重要な役割を果たす。
- ✓ 世界最大級の北海道蓄電池設備を早期完工した実績<sup>\*1</sup>を活かして、本件の遂行により脱炭素社会実現への貢献を目指す。

所在地	北海道室蘭市 ENEOS(株)室蘭事業所内	千葉縣市原市 大阪国際石油精製(株) <sup>*2</sup> 千葉製油所内
蓄電池出力/容量	50MW/88MWh	100MW/202MWh
着工時期	2022年7月	2023年8月
稼働予定	2023年度(予定)	2025年度(予定)
蓄電所外観 <sup>*3</sup> 左: 建設状況 右: 完成イメージ		

<sup>\*1</sup> 2023年4月14日「北海道北部風力送電株式会社向け北豊富変電所蓄電池システム建設工事を完工」

<sup>\*2</sup> ENEOS(株)のグループ会社

<sup>\*3</sup> 出所: ENEOS(株) 2023年8月17日プレスリリース



## 2. 先端素材分野

### (株)クレハより、先端素材 生産設備のEPC業務を受注

- ✓ フッ化ビニリデン樹脂(PVDF\*)生産設備 モノマー工程のEPC業務。  
(株)クレハとして過去最大の投資規模。
- ✓ 本件の遂行により、脱炭素社会の実現に向けて、自動車の電動化や再生可能エネルギー普及の鍵となる蓄電池の国内生産・安定供給に貢献する。



出典:(株)クレハHP

#### PVDF「クレハKFポリマー」(左写真)

- ✓ PVDFは、蓄電池(リチウムイオン電池)の基幹素材。
- ✓ 各国の環境保護意識の高まりなどにより、車載用リチウムイオン二次電池(LiB)向けに需要の拡大が見込まれる。

\* Polyvinylidene fluoride の略。

# 3. 水素事業

## 水素バリューチェーンの構築に向けた取り組みを加速

- ✓ 榊田会長兼社長が2023年8月30日「読売カーボンニュートラル・デイ」登壇\*1。
- ✓ 水素バリューチェーン構築に向けて、水素を「つくる」「はこぶ・ためる」「つかう」+「コスト低減」の多面的な取り組みを推進していくことをアピール。

つくる

- 水素キャリアMCH\*2を製造
- 中部電力・豪州Hazer社との協業によるメタン熱分解による水素製造

はこぶ・ためる

- MCHによる水素輸送・貯蔵技術を活かした国際サプライチェーンの商業化を推進

つかう

- MCHを脱水素(当社開発の触媒を使用)の上、水素を活用
- サステナブル燃料、MCH直接燃料電池



現在建設中のデモプラント  
(Hazer社資料より)



東亜石油(株)京浜製油所内  
脱水素プラント\*3

### コスト低減に向けた取り組み

- 脱水素触媒の性能向上
- 脱水素反応における周辺設備の排熱の利用(熱インテグレーション)
- 水電解設備全体の最適化

\*1 「読売新聞オンライン Carbon Neutral Project 特設サイト」より登壇動画をご覧ください。

\*2 メチルシクロヘキサン。トルエンと水素の化学反応で生成。常温・常圧で液体。

\*3 出所: 次世代水素エネルギーチェーン技術研究組合 / ブルネイ-川崎での国際間水素サプライチェーン実証設備



# 4. O&M-X\*ソリューション事業

## plantOS™ サービス提供開始

- ✓ 当社が長年培ってきた高度分析、解析サービスと最新デジタル技術を融合、千代田エクスワンエンジニアリングと連携しグループ総合力を発揮して、サイバーとフィジカルを組み合わせたハイブリッドなO&M (運転&保全)ソリューションを提供。
- ✓ プラント・建設業界のビジネスセーフティ <少子高齢化による人手不足、設備の高経年化、技術継承といった課題解決> に貢献。

### ■ イメージ図



\* Operation & Maintenance - Transformationの略。運転・保全改革。

---

## 5 サステナビリティ

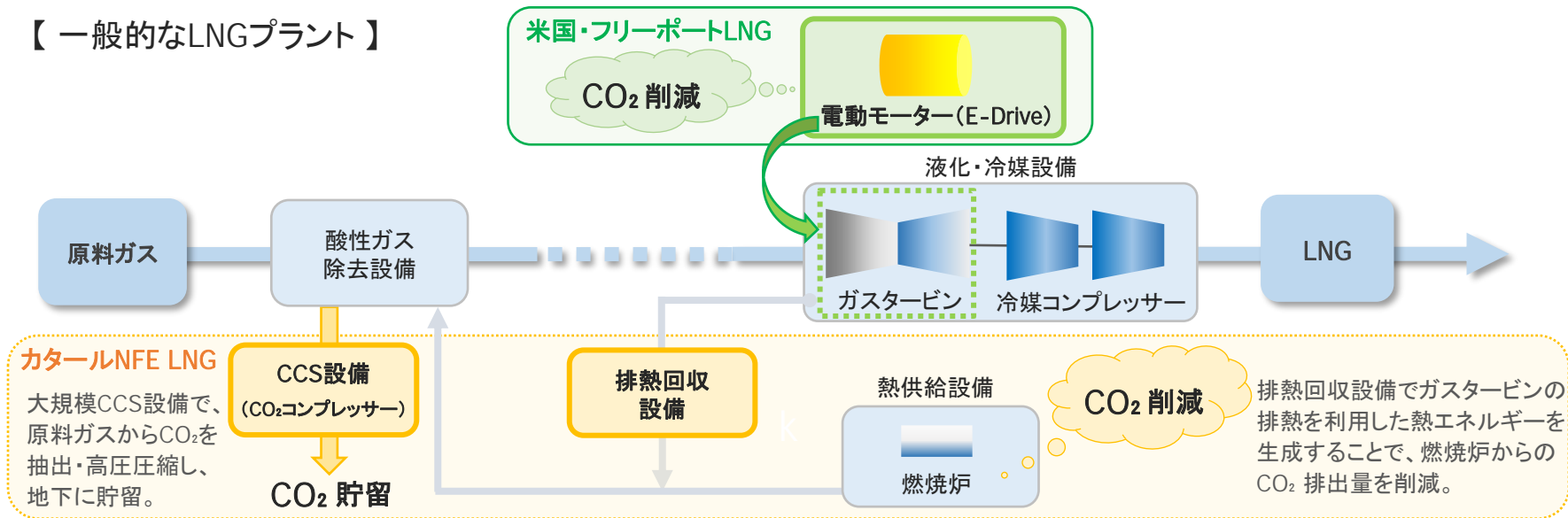
# 1. サプライチェーンでのCO<sub>2</sub>削減

## Cleaner LNG の推進

エネルギーの安定供給とトランジションエネルギーとして需要が高まるLNG分野で、今後の大きな開発コンセプトであるCO<sub>2</sub>排出量を削減するCleaner LNGの推進により、サプライチェーンでのCO<sub>2</sub>削減 (Scope 3) に貢献。

- ▶ カタールNFE LNG <建設中> : 大規模CCS\*設備・排熱回収設備の導入により、作業時のCO<sub>2</sub>排出量を25%削減。
- ▶ 米国・フリーポートLNG <完工>: ガス冷却装置に、従来のガスタービン駆動式でなく、電動モーター駆動式 (E-Drive) を導入することで、CO<sub>2</sub>排出量の48%削減を達成。

【一般的なLNGプラント】

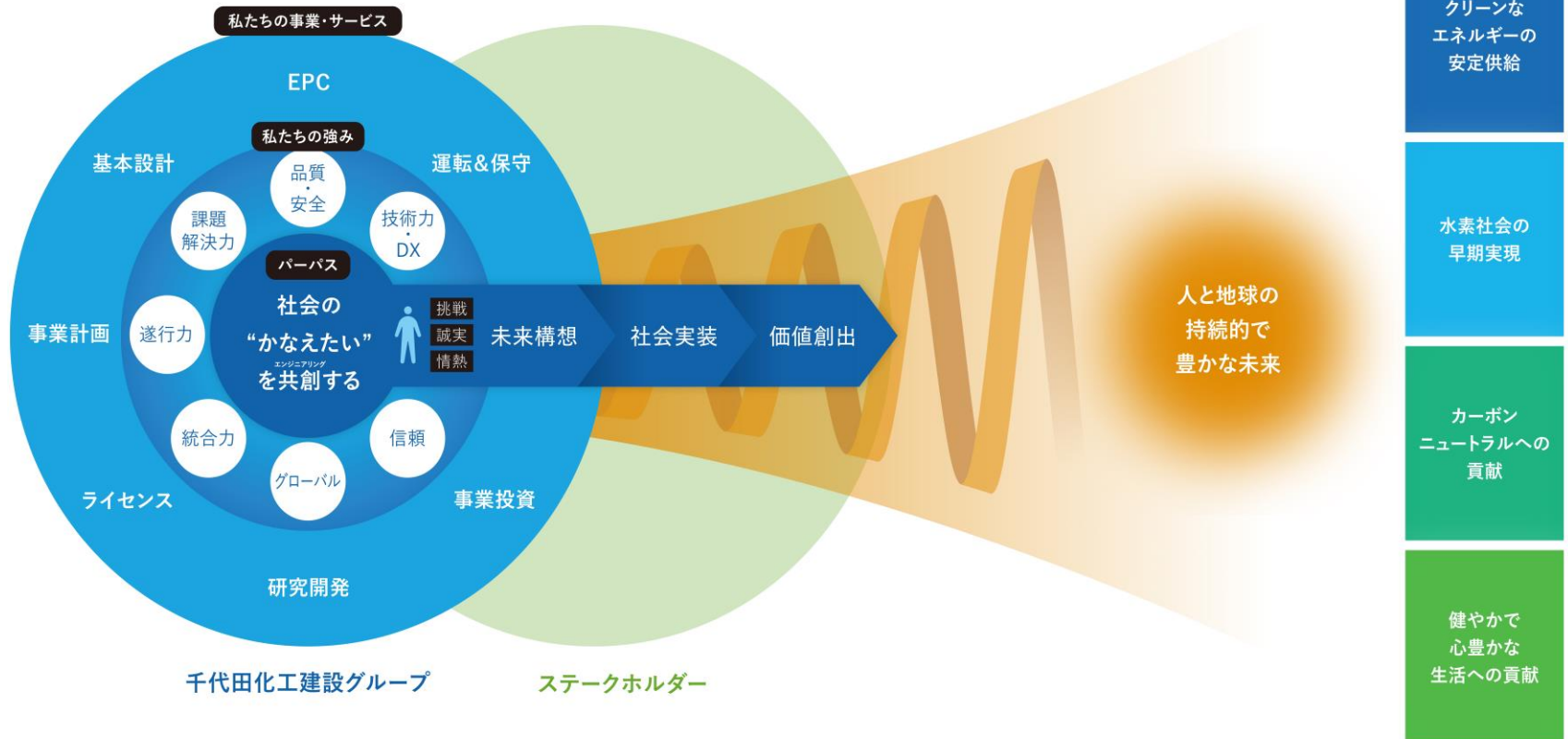


\* Carbon dioxide Capture and Storage の略。二酸化炭素回収・貯留。

## 2. パーパス制定

エンジニアリング

「社会の“かなえたい”を共創する」  
*Enriching Society through Engineering Value*



# *E nriching S ociety through E ngineering V alue*



千代田化工建設株式会社 総務部IR・広報・サステナビリティ推進セクション <https://www.chiyodacorp.com/jp/>

この資料には、事業戦略・本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および 将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。